

ラオスの文化・情勢

ラオスの治安

仏教国として知られるラオスは、おおむね治安が良いと思います。
人も気さくで雰囲気ものどかなラオスは落ち着いた旅を目的とするのであれば、
絶好の国だと私は感じました。

ただ、絶対に安全とは言い切れません。

これはラオスに限ってではないとは思いますが、
比較的治安が良いとされているビエンチャンといえど万引き等があります。
ご注意ください。

危険性が高いといえば・・・
移動中のリスクがあるということは覚悟しておかなければなりません。

ラオスの場合は交通手段が不便な点が挙げられますが、
危険性の高い交通手段が「バスでの移動」です。

知られている危険地域でいえば、
国道 13 号線と周辺地域は、過去にバスの襲撃事件が発生しています。
バスの襲撃事件は外国人も命を落としている事件です。

この陸路を通る可能性は、首都ビエンチャンから、
世界遺産である古都ルアンプラバンへの移動で使用します。
この場合はバスで長距離移動となります。

リスクを考えれば、飛行機による移動のほうが、リスクは低いでしょう。
ただし、飛行機に関しても整備不良の問題から事故の可能性があるとされています。
どちらにせよ覚悟は必要かと思います。

渡航前は必ず、外務省のホームページで危険情報を入手するようにしましょう。

現地での注意点

ラオスでは現地の方、子供の頭部には触れないようにしましょう。
ラオスの人にとって頭部が神聖な部位と考えられているからです。
気軽に触らぬように注意しましょう。

そして、仏教国であるラオスでは、僧侶は気高い存在です。
敬う気持ちを持って接するようにしましょう。また女性が僧侶に触れるにもタブーです。

それから肌の露出にも注意しましょう。
これは他の東南アジアの国々でも同じことですが、
神聖な場所、寺院に行くときは肌の露出は避けるようにしましょう。